

陳情文書表
(令和7年第3回定例会)

陳情第12号	令和7年7月1日受理
付託委員会	総務常任委員会
件名	死刑制度廃止に関する件
陳情要旨	
<p>令和7年6月28日付新聞に白石死刑囚の刑が執行されたと報道がありました。弁護側は控訴しましたが死刑囚は裁判を長引かせ親族に迷惑かけたくないと控訴を取下げたようです。執行された事に弁護士は大変ショックだといい、まだ語っていない動機、事件に関する話を聞きたかったといっています。弁護士連合会でも死刑執行大変遺憾強く抗議すると声明を出しています。</p> <p>死刑制度を容認する人が83.1%の世論、これには私は疑問があります。死刑制度は悪事の抑止にならない事です。</p> <p>私の父も80年前の戦争で私が生まれる前（S19.8.10生）、戦死（S19.7.18死亡）しています。これは国による死刑と同じだと思っています。生きて帰って来たら戦争の体験も聞きたかったし、又、兄弟が生まれたであろう兄弟愛の体験、出来たと思うと残念でなりません。親のない状況での生活は高卒まで親戚の家を転々した生活でした。</p> <p>死刑のやり方は皆さんすぐれた人達ですので知っていると思いますが残酷すぎて私にはできません。死刑執行命令の法務大臣の心がどのようになっているか理解できません。人間がする判断が正しいのか間違っているのか疑問です。どこかの国で死刑執行後に真犯人が出頭して来た事があったようです。</p> <p>又、ヨーロッパの先進国では死刑制度があってもほとんど執行されていないようです。日本で執行されている事に不思議に思っています。</p> <p>八千代市議会で死刑制度の廃止を決議し、国、県に呼びかけて下さい。</p>	